

社会資本総合整備計画(港湾) 事後評価書

令和3年3月29日

計画の名称	下関市の産業の活性化に資する国際物流拠点の整備(防災・安全)	重点配分対象の該当	
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	交付対象	下関市
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・延命化対策など港湾施設の改良等による港湾機能の維持・拡充を図り、地域産業のグローバルな活動を支える国際物流拠点の形成を目指す。 ・災害時における港湾機能維持の観点から延命化対策及び機能向上を図る。 ・日本最大の国際定期フェリー基地としての機能維持や利便性の向上等を図る。 		

計画の成果目標(定量的指標)

- 指標①** 下関港の整備促進及び適切な維持管理により、外貿取扱貨物量を2,887千トン(H27)から3,509千トン(H31)に増加させる。
- 指標②** 港湾施設の長寿命化計画の策定施設数を54件(H27)から66件(H31)に増加させる。
- 指標③** 予防保全計画に基づく整備施設数を0件(H27)から11件(H31)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

指標	定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
		指標①	2,887千トン (※H25実績値)	3,198千トン	
指標②	維持管理計画を策定した港湾施設数(策定率) 維持管理計画策定率 = (評価時点の維持管理計画を策定した施設数) / (維持管理計画を策定する全施設数)	0件	12件	12件	
指標③	予防保全計画に基づく整備施設数(整備率) 整備率 = (予防保全計画に基づく整備施設数) / (予防保全計画に基づきH27d～H31d間に整備する施設数)	0件	3件	11件	

事後評価

実施体制、実施時期、事後評価

実施体制	実施時期
下関市社会資本総合整備計画(港湾・海岸事業)評価委員会にて、事後評価を実施	令和3年3月22日(月)
	公表の方法
	下関市ホームページに掲載

全体事業費(百万円)	合計(A+B+C)	計画	2,335.0	A	計画	2,240.0	B	計画	0.0	C	計画	95.0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	計画	4.06%
		実績	1,783.0		実績	1,707.3		実績	0.0		実績	75.7		実績	4.24%

1. 交付対象事業の進捗状況[◎:計画期間中に完了、○・△:計画期間終了後も継続{○:計画どおり進捗、△:計画どおり進捗せず}、×:その他{備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)}]

交付対象事業

A 基幹事業/港湾事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	港湾・地区名	所管課所室	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考	関連指標
										H27	H28	H29	H30	H31				
										上段:計画								
A02-001	港湾	一般	下関市	直接	下関市	橋梁改良整備	橋梁工 1基 L=62m、W=25m	下関港長府地区	港湾局施設課						731.0	◎		① ※H31重点
A02-002	港湾	一般	下関市	直接	下関市	臨港道路の改良整備	道路改良 25m×1,340m	下関港長府地区	港湾局施設課						40.0	×	未実施	③-1 (①)
A02-003	港湾	一般	下関市	直接	下関市	橋梁改良整備	橋梁工 1基 L=15m、W=9m	下関港福浦地区	港湾局施設課						210.0	◎		③-2 (①)
A02-004	港湾	一般	下関市	直接	下関市	岸壁改良整備	本港16,17号岸壁(-10m) 防舷材	下関港本港地区	港湾局施設課						12.0	×	未実施	③-3 (①)
A02-005	港湾	一般	下関市	直接	下関市	岸壁改良整備	本港12,13,15号岸壁(-9m) 防舷材、エプロン改良	下関港本港地区	港湾局施設課						4.0	×	未実施	③-4 (①)
A02-006	港湾	一般	下関市	直接	下関市	岸壁改良整備	本港10号岸壁(-13m) 防舷材、エプロン改良	下関港本港地区	港湾局施設課						18.0	×	未実施	③-5 (①)
A02-007	港湾	一般	下関市	直接	下関市	岸壁改良整備	岬之町23号岸壁(-5.5m) 防舷材	下関港岬之町地区	港湾局施設課						13.0	×	未実施	③-6 (①)
A02-008	港湾	一般	下関市	直接	下関市	下関港長寿命化計画策定	計画策定:12施設 (臨港道路12件)	下関港	港湾局施設課						6.0	◎		② (①)
A02-009	港湾	一般	下関市	直接	下関市	岸壁改良整備	長府3号他物揚場(-3.0m) 防舷材	下関港長府地区	港湾局施設課						7.0	×	中止	※該当なし
A02-010	港湾	一般	下関市	直接	下関市	航路浚渫	航路(-1m) V=3,400㎡	下関港長府地区	港湾局施設課						33.0	×	未実施	③-7 (①)
A02-011	港湾	一般	下関市	直接	下関市	防波堤改良整備	王司船だまり防波堤改良(防食)	下関港長府地区	港湾局施設課						123.0	×	未実施	③-8 (①)
A02-012	港湾	一般	下関市	直接	下関市	橋梁改良整備	橋梁工 1基 L=28m、W=18m	下関港本港地区	港湾局施設課						42.0	◎		③-9 (①)
A02-013	港湾	一般	下関市	直接	下関市	緑地整備	緑地 5.5ha	下関港新港地区	港湾局施設課						900.0	○		①
A02-014	港湾	一般	下関市	直接	下関市	泊地浚渫	泊地(-3m) V=4,800m3	下関港瀬流島地区	港湾局施設課						60.0	△		③-10 (①)
A02-015	港湾	一般	下関市	直接	下関市	棧橋改良整備	棧橋改修 2基、ボードウォークの改修 A=1,000㎡	下関港東港地区	港湾局施設課						41.0	○		③-11 (①)
											計画合計			2,240.0				
											実績合計			1,707.3				

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	所管課所室	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
									上段:計画							
											計画合計			0.0		
											実績合計			0.0		

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	所管課所室	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31				
									上段:計画								下段:実績
C02-001	港湾	一般	下関市	直接	下関市	下関港の活性化	下関港活性化に関する有識者会議等	港湾局経営課							80.0	○	
C02-002	港湾	一般	下関市	直接	下関市	下関港の防災機能向上	下関港事業継続計画の作成、協議会の開催等	港湾局経営課							15.0	◎	
											計画合計			95.0			
											実績合計			75.7			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C02-001	全基幹事業と一体的に整備することにより、港湾機能拡充(物流機能の強化)を図る。	
C02-002	全基幹事業と一体的に整備することにより、防災機能の向上が図られる。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付金対象事業の効果の発現状況

- ①下関港の整備促進及び適切な維持管理による外貿取扱貨物量の増加(A02-001、013、C02-001、002)
 - ・扇橋の改良整備(架替)を実施することにより、施設の耐荷力及び耐震性能不足を解消することができ、利用者の安全安心を確保するとともに安定した地域企業活動の継続を図ることができた。
 - ・新港地区(長州出島)の緩衝緑地整備を実施することにより、創貨の見込まれる企業に影響を及ぼす越波・飛沫・風から防護することで早期利活用を目的とした産業振興用地売却を開始することができた。
 - ・効果促進事業において、下関港の活性化及び下関港の防災機能向上に関する事業を実施することにより、物流機能の強化方策検討や大規模自然災害時における港湾機能の維持及び早期復旧を目的とした下関港事業継続計画(下関港BCP)を作成し、下関港における取扱貨物量の増加に向けた体制整備を図ることができた。
- ②港湾施設の長寿命化計画の策定(A02-008)
 - ・臨港道路における下関港長寿命化計画を策定することにより、ライフサイクルコストの縮減や施設の延命化が図られるとともに施設の老朽化による重大事故の未然防止が可能となった。
- ③予防保全計画に基づく港湾施設整備(A02-002、003、004、005、006、007、010、011、012、014、015)
 - ・福浦橋の改良整備(架替)を実施することにより、施設の耐荷力及び耐震性能不足を解消することができ、利用者の安全安心を確保するとともに施設の利用制限(片側交互通行)を解除することができた。
 - ・港橋の改良整備(補修)を実施することにより、利用者の安全安心を確保するとともに施設の延命化を図ることができた。
 - ・巖流島地区の泊地浚渫を実施することにより、利用船舶の安全な停泊や円滑な操船が可能となった。

II 定量的指標の達成状況

計画の成果目標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因
【指標①】 下関港の外貿取扱貨物量	3,509千トン	2,610千トン	下関港の整備促進及び適切な維持管理について、限られた予算の中で優先度の高い事業から順次整備を実施したが、一部未実施となった事業が生じたことや、国内の長引く景気低迷や経済成長の鈍化、日韓関係の情勢により取扱貨物量の増減があったものの、最終的に目標値の達成には至らなかった。
【指標②】 維持管理計画を策定した港湾施設数(策定率)	12件 (100%)	12件 (100%)	—
【指標③】 予防保全計画に基づく整備施設数(整備率)	11件 (100%)	3件 (27%)	老朽化等により利用に支障をきたしている港湾施設について、限られた予算の中で優先度の高い施設から順次整備を実施したが、全ての施設整備は完了できず、目標値の達成には至らなかった。

III 定量的指標以外の交付金対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・引き続き、延命化対策など港湾施設の改良等による港湾機能の維持・拡充を図り、地域産業のグローバルな活動を支える国際物流拠点の形成を目指すとともに、日本最大の国際定期フェリー基地としての機能維持や利便性の向上等を図る。
- ・近年増大する自然災害へ対応するため、引き続き、災害時における港湾機能維持の観点から延命化対策及び機能向上を図る。
- ・残事業については、事業の優先順位を精査したうえで、次期整備計画において推進していく。